

2023年

6/14(水) 19:00 (18:40開場)

東京大学教養学部 900番教室(講堂)

June 14 7:00 pm Auditorium No. 900, Komaba Campus, The University of Tokyo

入場無料

オルガン: **パヴェル・コホート** Organ: Pavel Kohout

ソプラノ: **イヴァ・フラヴァーチコヴァー** Soprano: Iva Hlaváčková

J・S・バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)

カンタータ第29番

『神よ、我ら汝に感謝す』より第一楽章「シンフォニア」

(オルガン編曲:A.ギルマン)(オルガン ソロ)

Sinfonia aus der Kantate „Wir danken dir, Gott“ BWV 29

(Orgelbearbeitung Alexandre Guilmant)

『ヨハネ受難曲』よりアリア「私も喜ばしい足取りで」

(ソプラノ+オルガン)

Arie „Ich folge dir gleichfalls“ (aus der *Johannes-Passion*), BWV 245

『6つのコラール(シュープラー・コラール)』より

『第6曲: イエスよ、いまぞ汝御空より降り来りて』

(オルガン ソロ)

„Kommst du nun, Jesu, vom Himmel herunter“, aus den *Schübler-Chorälen* BWV 650

G・H・シュテルツェル Gottfried Heinrich Stölzel (1690 - 1749)

オペラ『ディオメデス』より「あなたが傍にいて下さるなら」

(『アンナ・マクダレーナ・バッハのための音楽帳』による編曲)(ソプラノ+オルガン)

Arie „Bist du bei mir“ (aus der Oper *Diomedes*), Fassung aus dem

Notenbüchlein für Anna Magdalena Bach, BWV 508

J・S・バッハ Johann Sebastian Bach

カンタータ第35番『霊と心は驚き惑う』より

第一楽章「シンフォニア」

(オルガン編曲:A.ギルマン)(オルガン ソロ)

Sinfonia aus der Kantate „Geist und Seele wird verwirret“ BWV 35

(Orgelbearbeitung Alexandre Guilmant)

カンタータ第170番『満ち足りた安らぎ、

望まれし心の喜びよ』より同題のアリア

(ソプラノ+オルガン)

Arie „Vergnügte Ruh“, beliebte Seelenlust“ aus der gleichnamigen Kantate BWV 170

W・A・モーツァルト Wolfgang Amadeus Mozart (1756 - 1791)

序曲ハ長調(未完成の組曲より)

(オルガン ソロ)

Ouverture aus der unvollendeten Suite in C Dur, KV 399 (385i)

J・ハイドン Josef Haydn (1732 - 1809)

オラトリオ『天地創造』よりアリア「いまや野の新緑が」

(ソプラノ+オルガン)

Arie „Nun beut die Flur“ aus dem Oratorium *Die Schöpfung*

C・フランク César Franck (1822 - 1890)

前奏曲、フーガと変奏曲

(オルガン ソロ)

Prélude, Fugue et Variation, op. 18

A・ドヴォルザーク Antonín Dvořák (1841 - 1904)

『聖書の歌』より

第二番「我が隠れ家にして我が盾なるは御身なり」

第四番「主は我が羊飼ひ」

第七番「バビロンの川のほとりに」

第十番「主に向かって新しき歌を歌え」

(ソプラノ+オルガン)

Biblické písně Op. 99: 2. Skryšje má a pavezá má / 4. Hospodin jest můj pastýř

7. Při řekách babilonských / 10. Zpívejte Hospodinu

東京大学教養学部 第144回 オルガン 演奏会



THE UNIVERSITY OF TOKYO

KOMABA
MORI ORGAN

【主催】東京大学大学院総合文化研究科・教養学部オルガン委員会 【協賛】東大駒場友の会
<https://organ.c.u-tokyo.ac.jp/> Tel.03-5454-6139(駒場博物館)

東京大学教養学部 第144回 オルガン演奏会



オルガン: パヴェル・コホート

Organ: Pavel Kohout

1976年生まれ。プラハの音楽院及び芸術アカデミー音楽学部を卒業後、アムステルダムで勉学を続け、歴史的オルガンの研究と演奏で著名な専門家ジャック・ヴァン・オールトメルセンに師事。ヨーロッパで数々のコンクールで第一位を受賞し、2000年には、東京武蔵野市で4年に一度開かれる世界で最大の国際オルガン・コンクールで、金賞とJ・S・バッハ賞を獲得。現在、ヨーロッパの新世代のオルガニストを代表する一人。研究も同時に続け、プラハ芸術アカデミーにて、南ドイツ・バロック・オルガン曲の演奏史についての論文で博士号を取得。ヤナーチェク国立音楽大学(ブルノ)オルガン科准教授。

ソリストとしてのみならず、数々のオーケストラとも共演し、その活躍の舞台は、ヨーロッパ、ロシア、イスラエル、ニュージーランド、シリア、日本、香港、台湾、アメリカと世界各地にまたがっている。中でも、2008年、オーストラリアの二度目の訪問時にオーケストラ・ヴィクトリアと行った、アレクサンドル・ギルマンの「オルガンと管弦楽のための交響曲第1番」の演奏は、好評を博した。演奏家としてだけでなく、チェコ国営ラジオ放送とのオルガン講習会の企画など、教育・啓蒙の面でも積極的に活動。ソリストとして発表したCDに、「プラハ・バロックの黄金時代(Prague-L'âge d'or baroque)」、「ボヘミアの黄金精神(Anima Aurea Bohemiae)」、「天才」J・S・バッハ(Genius Johann Sebastian Bach)」などがある。



ソプラノ: イヴァ・フラヴァーチコヴァー

Soprano: Iva Hlaváčková

チェコのソプラノ歌手。マルーケタ・シュルートコヴァーの指導のもとで歌を学んだあと、パルドゥビツェ音楽院にてハナ・メトコヴァーに師事し、2020年に優秀な成績で卒業した。在学中にフィンランドに留学し、オーボ・アカデミー大学で半年間勉強しながら、主に20世紀の作曲家の音楽を演奏するVida Ensemble(ヴィーダ・アンサンブル)という室内アンサンブルのメンバーになった。

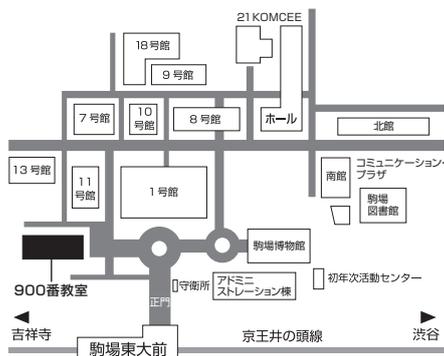
またイタリアのテノール歌手アントニオ・カランジェロやカテジナ・クネジーコヴァーなどの声楽マスタークラスにも定期的に参加している。在学中にいくつかのオペラプロジェクトに関わり、例えばプッチーニのオペラ『修道女アンジェリカ』のジェノヴィエツァ役、モーツァルトの『魔笛』のパパゲーナ役、あるいは『フィガロの結婚』のスザンナ役などを演じた。現在は室内楽のコンサートや後進の指導に力を注いでいる。声楽・器楽アンサンブルReBelCanto(レベルカント)の常任メンバーとして、毎年チェコとドイツでのツアーに参加するほか、チェコ国内外の多くの音楽祭でソロコンサート活動を展開している。

2023 6/14 wed. 19:00

東京大学教養学部 900番教室(講堂)

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

(京王井の頭線 駒場東大前駅下車)



駒場キャンパスの音楽活動について

1977年に、森泰吉郎氏(森ビル株式会社初代社長)のご寄贈によって緑に囲まれた900番教室(講堂)にパイプオルガンが設置されました。以来、音楽を愛する教職員によるオルガン委員会が中心となって定期的に演奏会が開催され、学生はもとより広く市民の方々にも愛されています。

また、2006年秋には、スタインウェイのフルコンサート・グランドピアノが駒場コミュニケーションプラザ北館2階の音楽実習室に設置されました。音楽実習室では2007年よりオーディションによって選ばれた学生による学生選抜コンサートが開催されるなど、駒場キャンパスの音楽活動の軸となっています。

こうした多彩な駒場の音楽活動は「駒場音楽振興基金」(東大駒場友の会)からの補助によって支えられています。皆様からのご寄付をお寄せくださいますようお願いいたします。

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

オルガン委員会 <https://organ.c.u-tokyo.ac.jp/>

ピアノ委員会 <https://piano.c.u-tokyo.ac.jp/>

Tel. 03-5454-6139(駒場博物館) Tel. 03-3467-3536(東大駒場友の会)

